



発行日：平成 26 年 10 月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆第 22 回海部会 WG を開催しました！

10 月 11 日に第 22 回海部会 WG を開催し、西尾市の佐久島白浜海岸にてごみ・流木調査を実施しました。

なお、今回 WG は、愛知県主催の「佐久島の海岸でわくわくビンゴ&アート体験!!」と同時開催で実施しました。

日時：H26 年 10 月 11 日（土）10:15～14:30  
場所：西尾市一色町 佐久島 白浜海岸  
参加者：13 名（事務局含む）



### ◆主な活動内容

#### 1：西尾市一色町佐久島白浜海岸にてごみ・流木調査を行いました



西尾市一色町佐久島白浜海岸にてごみ・流木調査を行いました。流木、人由来ごみの 2 種類の調査について、海部会メンバーで話し合いながら実施しました。



10m 四方範囲を調査します



約 60cm の間伐材



根付きのアマモ



種別に分類



集めたゴミ

※調査結果は裏面に記載しています。

#### 2：「佐久島の海岸でわくわくビンゴ&アート体験!!」に参加し、子どもたちと交流しました



海部会メンバーでごみ・流木調査をした後、愛知県主催の「わくわくビンゴ&アート体験!!」に運営スタッフの一員として参加し、海岸漂着物集めのアドバイスや子どもたちとの交流を行いました。



漂流物の収集



ビンゴを記入する様子



海部会メンバーと子どもとの交流



拾ったゴミの確認

#### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、建設専門官 真柄

TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100





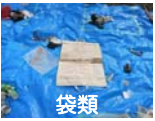





## ◆ごみ・流木調査結果

- 10m 四方内の流木の割合は、山発生のもの 3%、川発生のもの 10%、海発生のもの 20%であった。
- 10m 四方内の人由来ごみは、20L ごみ袋 3 袋分（ランク 4~5）で、内訳は以下ようになった。

<流木の状況>

A. 漂着物の状況 (時間経過)	1	樹皮、枝葉が確認され、漂流後間もないもの	無
	2	樹皮等は確認されず、時間をかけて漂流したもの	有
B. 人工林・自然林、 その他の別	1	根こそぎもしくは折れて運ばれてきた樹形のまっすぐな人工林	無
	2	まっすぐな樹形かつ切断面が明確な間伐木	無
	3	切断面は明確だが、まっすぐでない人工林以外のもの	有
	4	根こそぎもしくは折れて運ばれてきた灌木等	無
	5	その他 ( )	

<人由来のごみの状況>

写真	       
種類	<p>【生活系ごみ】飲料用プラボトル、食品の包装・容器・トレー、紙パック、ふた、キャップ、袋類（農業用以外）、飲料ガラス瓶、ライター、その他生活系（薬きょう、靴、モップ、ゴルフボール）</p> <p>【漁業系ごみ】その他漁業系（網等）</p> <p>【事業系ごみ】木材等、苗木ポット、船の部品</p> <p>【その他】硬質プラスチック片、シート、袋の破片</p>
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風の影響か、根付きのアマモをはじめとした海藻が多い。</li> <li>・漂流後、時間が経過した古いゴミが散見された。</li> <li>・川で使ったと思われるゴルフボールも見られた。</li> <li>・60cm 程度に短く切られた間伐材も多く見られた。</li> </ul>

## ◆振り返りでの主な意見

### ●ごみ・流木調査と子どもたちとの交流の感想について

- 林野庁の方針で愛知県は切り捨て間伐をしていたが、批判が出たため利用間伐に変えた。実際は、道があってワイヤーを通せられて間伐材を搬出できる場所は限られる。
- 愛知県の県民の森の間伐では 61cm に、根羽村では子どもが拾いやすいように 50cm や 60cm の長さに切っていた。そのような短い流木でも、海藻網にひっかかると漁業に支障が出る。
- アマモはゴミではない。海藻に虫がわいて鳥がそれを食べにくるので浜の栄養源にもなる。
- ピンゴで指定された種類のゴミしか探していない保護者がいたが、「後からゴミ拾いしましょう」と言うのを聞いて安心した。
- ボールやおもちゃが落ちていたが、皆、漂着したのではなく、誰かが捨てたものだと言っていた。村の子が捨てたおもちゃだと言っている親もいて、問題だと思った。

### ●次回WG（干潟造成にむけた検討）について

- 愛知県水産課の事業の一環として、矢作ダムの砂を西浦の人工干潟に持ってきて土壌環境改善をする話が進んでいる。矢作ダムに協力してもらい、今年度中に実施される予定のようだ。
- 次回 WG では、矢作ダムもしくは愛知県の担当者に来てもらい、具体的な説明をしてもらいたい。その上で海部会として、どのように関係機関と連携していくか、どのような方法で矢作ダムの砂を運び、どの場所に砂を入れるのかなどについて話し合いたい。



## 今後のスケジュール（予定）

### 次回 海部会第 23 回 WG を 11 月 19 日（水）に開催します

内容は、干潟造成にむけた検討などについて話し合う予定です。

